

折に触れ 四字熟語

NO. 301 『曠日弥久』 こうじつ びきゅう

< 意味 > むなしく日月を費やして、久しきにわたること。また、むだに時間を過ごして事を長引かせること。「日を曠むなしくして久しきに弥わたる」と訓読する。

< 出典 > 『戦国策』燕策えんさく

語 釈：「曠日」は多くの月日を経ること。また、むだに月日を過ごすこと。「弥久」は長い時間を経ること。「弥」はわたる、時間を経る意。

一 言： 80才・傘寿を迎えた私としては耳が痛いというか身につまされる言葉です。立派な人生を送られた方の話ですが、私が80才になった日に歌手の園まりさんが亡くなったとの新聞報道があり、奇しくも享年80才と書いてありました。若いころの好きな歌手の1人でしたが同い年とは知りませんでした。数多くのヒット曲を歌い、映画にも出演された我々の年代のスターでした。ご冥福を祈るばかりです。

参照文献： 岩波書店「四字熟語辞典」